



# 飯能ロータリークラブ会報



唐竹晩秋 Karatake in late autumn

© photo by Isao Yoshida

よいことのために手を取りあおう

## Unite for Good

RI会長 フランチェスコ・アレツツォ

第2570地区ガバナー 坂口 孝

第3グループ  
ガバナー補佐 高橋 和男

クラブ強化と活性化のために行動してください！

第3194例会 2025. 10. 29

—— 経済と地域社会の発展月間 ——

天候 晴 (NO. 62-18)

会長 中里忠夫 幹事 都築敏夫

例会日 水曜日(12:30～13:30) 当番 小川君、大野(康)君

例会場：ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)973-1661 FAX (042)973-1662

<http://www.hanno-rc.org/>

E-mail hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 中里忠夫会長
- ・ソング 手に手つないで
- ・ビジター（寄居）小宮俊光様
- ・卓話 吉田茂彦会員  
吉野敏弘会員



### ◎ブレア交流委員会

森 香織様

こちらからの派遣生徒に関しては全額自費負担なのですが、通訳兼添乗員の費用分をご寄付頂きたいという趣旨です。どうぞご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

### ◎ブレア交流委員会代表

吉田行男会員

市川市長の時に畑知事の紹介で飯能市とブレア市が姉妹都市となり、交流は40年近く続いてきました。沢辺市長の時、私は教育委員で、引率者としてブレアにも行きました。来年度、緊縮財政のため市では予算が取れないことが確定したのですが、交流を継続させるため、各学校に自費での参加者を募りたいと思います。教育委員会にも後援を頂く予定です。RCメンバーにも絶大なるご協力をお願いできればと思います。



### 【会長報告】

2回目の夜間例会を盛況に終えることができました。ご協力有難うございました。

来月1日、2日の「飯能まつり」で、ポリオの募金活動を実施しますので参加できる方はご協力をお願いします。イニシエーション・スピーチ、たっぷりお願い致します。

### 【幹事報告】

「飯能まつり」でポリオ撲滅キャンペーンおよび募金活動を行います。1日12時集合、20時終了。ブーステント立ち上げ、旗、募金箱、チラシ等の準備後、活動。2日13時集合、21時完全撤収。場所は武田ミシン商会東側。運営メンバー以外の方は適宜ご都合に合わせてお出で頂ければ結構です。11月5日11時30分より第6回理事会です。

### 【委員会報告】なし

【出席報告】無届欠席2 森住出席向上委員

会 員 数		当 日	
全 数	対 象	出席数	出席率
69名	7名	60名	86.96%

## 【M U】

10/25 (地区) 伊澤君

10/28 (日高) 井上君

## 【ロータリーの友】

大野(康)雑誌委員長

10月号。横組、特集：地域社会の経済発展月間「一献を紡いで～さけづくりと、まちづくり～」、特集：米山月間。P6「地酒復興はいつしか震災復興に」永山様(小野田RC)は前島会員のお仲間だそうです。山口県は40年前まで「最も地元の酒を飲まない県」と言われていたのが、福島県の中学生達とコラボすることで酒処となり、復興に繋がったとのこと。五十嵐様(川越RC)は飯能の五十嵐酒造の弟さんで、鏡山酒造を2007年に復興された方です。縦組、「崎陽軒」と「鹿沼」との関係について。P12、俳壇に佐藤会員(日高)。1番も間近かなと思います。

## 【SAA報告】

### ◎ニコニコBOX

- ・3月19日(水)以来のMUに参りました。よろしく願い致します。(寄居)小宮俊光様
- ・小宮さんようこそ飯能RCへ。SAA伊澤君
- ・先日の高橋さんの藍綬褒章のお祝いは大変お世話になり有難うございました。

発起人一同

- ・先日の夜間例会では皆さんにご迷惑をおかけして大変申し訳ございませんでした。お蔭様で今は元気です。矢島(巖)君

- ・10/22の夜間例会ではメツァまでお越し頂き有難うございました。11/1からメツァ、ムーミンバレーパークではクリスマスイベントが始まります。望月君

- ・遅刻しました。服部副会長

本日計 21,000 円、累計額 364,211 円。

◎5日例会当番は大野(泰)、島田会員です。

## 【卓 話】

講師紹介

坂本プログラム委員長

## イニシエーション・スピーチ

飯能RC 吉田茂彦会員

飯能RC 吉野敏弘会員

### ■吉田会員

しげちゃんこと吉田茂彦です。飯能RCの一員として、私のこれまでの歩みと地域への想いを少しお話をさせていただきます。

実は私が10歳の頃、亡き母が「茂彦が赤ちゃんの時、税務署の人が来て、とても払えないような税金をかけられたことがある」と話しておりました。私は子どもでしたが「何てことだ」と感じました。今思えばそのことが私の現在の考え方やスタンスの原点になっ



ているのかもしれませんが。

税と金融。2つの視点からお話させていただきます。

飯能市八幡町で生まれ、飯能第一小学校、西中、所沢高校を経て駒澤大学へ進学しました。

まさか国税に勤めることになるとは夢にも思っておりませんでした。国家公務員試験を受けたご縁で国税専門官として東京国税局に採用されました。当初は税務署で法人調査を担当し、国際課税の研修にも参加させて頂きました。その後、国税局の法人課税課、企画課、税務相談室等を経て、渋谷税務署の特別調査官を最後に定年退職致しました。

在職中は中小企業から上場企業まで幅広く担当し、法人課税課に居た時は、税務署から寄せられた難しい案件に助言を行うような経験もさせて頂きました。また、研修講師として判り易く伝えることの大切さを学びました。税務相談では短時間で正確に説明するために日頃から専門書を丁寧に読み、その積み重ねの中で苦手なところは作らない、そういう勉強の視点を身につけたと思います。さらに、通達や事務連絡を作成する機会もありましたが、誰にでも真意が伝わる表現を書かなければいけませんので、常にその辺を意識しておりました。そして、東京国税不服審判所に出向した際には、納税者の立場を踏まえて公正な判断を行うことの重要性を改めて学びました。こうした経験の積み重ねの中で、法人税関係の書籍や研修指導の作成にも携わり、退職後には大学院テキストの監修にも関わる機会を頂きました。

実は48歳と50歳の時、それまでの経験を活かして転職を考えたことがありました。48の時は紹介業者から、50歳の時は家族から反対されて結局定年まで勤めることになりました。当時は迷いもありましたが、振り返りますとそのお蔭で貴重な経験を積むことができたので、反対してくれた家族には今では感謝しております。結果的にそれが今の私の糧になっていると感じております。

また、50歳の頃、税務相談を重ねる中でJ-REIT(不動産投資法人)のしくみと優位性について気がつきました。そして、退職後はJ-REITを活用した資金運用と相続・事業承継のコンサルティングに取り組むたいと考えるようになりました。そのため、ファイナンシャル・プランニング技能士1級とFP(ファイナンシャル・プランナー)の国際資格であるCFP®を取得し、税務に留まらず、金融、資産運用、相続まで幅広く支援できるように努めて参りました。

定年退職を迎えたのはR 2年でした。当時私は中野の宿舎に住んでいましたので、当初は東京での開業を予定しておりました。ところがコロナ禍で状況は一変、都内での開業を断念して飯能の実家で新たなスタートを切ることになりました。

R 2年8月に税理士登録。地元で活動できる今の環境は最も自分に合っているものと感じております。振り返れば、それが私を飯能RCへ導いてくれた人生のご縁だったのだと感じております。

R 2年には息子と共に「一般社団法人F P マネースクール」を設立しました。税、金融、不動産等、それぞれの分野に強みをもつ専門家3名と協力し合いながら希望される方への支援を行っております。私は主に相続・事業承継と金融資産運用の分野を担当しております。

また、法人設立前から息子が運営しているHPでは、相続や不動産に関するQ & Aを毎日投稿しており、全国の方々が金融や税のしくみを学ぶきっかけになればと願っております。スライド名で「お金を増やす金融資産運用7つの知識」「資産を増やす法人スキームの活用法」等を活用して、希望される方には個別にご説明する機会も頂いております。

ここで、J-R E I Tについて一つ例を申し上げますと、例えば「三菱地所物流リート投資法人」の配当は現在およそ年4.6%です。J-R E I Tは「投資法人が利益の9割を超えて配当に回せば、その投資法人に対して法人税が掛からない」という特別な税制スキームによって支えられています。J-R E I Tは、バブル崩壊後の金融機関が保有していた不動産を市場に円滑に移すために国が導入した制度で、透明性の高いしくみとして今は定着しております。機会がありましたら、こうした制度ができた背景やしくみを皆様と一緒に学び合えればいいなと思っています。

さて、R 4年秋、税理士会飯能地区長の後任を依頼され、併せて法人会と商工会議所にも求められて加入しました。翌年、法人会の新入会員歓迎会でロータリアンの方々と出会いまして入会のお誘いを頂きました。その場ではお返事をしていなかったのですが、昨年になり別のロータリアンの方からお声掛けを頂きまして、今年3月、正式に入会させて頂きました。

思えば一つ一つの出会いが不思議と次のご縁を繋いでくれました。もし新型コロナが無ければ飯能で事業を行うこともRCの皆様と出会うこともなかったでしょう。今にして思えばまさに「ご縁の連鎖」だったと感じております。

最後に趣味の話です。私は1年程前からボウリングを始めました。例会の前にはボウリ

ング・リーグに参加しております。メンバー15名のうち6割が女性で、笑い声に包まれながら健康維持と交流を楽しんでおります。ボウリング仲間との繋がりが私の元気の源になっていると思います。

私はあと少しで66歳になります。これまで培った経験を少しでも飯能の発展に活かしたいと考えております。生まれ育った地で再び皆様と共に歩めることが私にとって何よりの喜びでございます。これからも奉仕の心と学びの姿勢を大切に、地域の未来に少しでもお役に立てるよう努めて参ります。

飯能RCの一員として、皆様と共に学び、笑い、そして地域に貢献できることを心から楽しみにしております。ご清聴誠に有難うございました。



#### ■吉野会員

飯能信用金庫の吉野と言います。よろしくお願ひします。

私は今年3月に飯能中央支店に支店長として配属になりました。4月からRCのお仲間に入れて頂くことになって感謝しております。前任の原島がかなり強烈なキャラクターだったので(笑)、私が受け入れて頂けるか少し不安だったのですが、本当に楽しくやらせて頂いております。

私はS 46年5月、埼玉県小川町に生まれました。兼業農家で、父も働いてはいたのですがほぼ米づくりの農家ということで育っております。地元の小中学校を卒業後、松山高校に進学しました。

高校では小学校からやっている野球部に所属しまして、3年間甲子園を目指して日々練習に励んでおりました。当時の高校球児は丸坊主で、「一厘」とかそんな世界で、洗う必要がなく拭くだけで十分。全く女っ気無く過ごさせて頂きました。

高校卒業後、1年浪人して、武蔵大学に進学しました。大学では野球は辞めまして、硬式テニス部に入り、意外と本気で取り組みました。4年後、無事卒業して飯能信用金庫に入行しました。

当初配属された北坂戸支店は34番目の店舗で、H 4年の開設。私の入行がH 7年でしたので、できて間もない新店舗への配属となりました。同期は居らず新入職員は私一人。1年目は本気で辞めようかなと思ったくらい話す相手がなかなか居らず凹んだ時期もあったのですが、1年後に営業係として出させて頂き、お客様のところを回るようになってからこの仕事が楽しく思えたのかなと思っています。

当時、飯能信用金庫は集金をメインにやっていたので、月に400軒、返却も含めると800軒、それ以外も含めて約1,000軒程、お客様のところをほぼ毎日朝から晩まで出回って、集金したり、いろんな話をさせて頂いたというのが、今となってはすごくいい経験だったのかなと思っています。

北坂戸支店に6年、その後、鶴ヶ島支店に6年。こちらも営業係でした。次に入曽支店に4年。最初の2年は営業でしたが、後半は融資係で、初めて支店の中でお仕事をするという経験をさせて頂きました。

営業もですが融資係もお客様と接する機会が多くて、ご要望に沿えない難しい部分も多かったり、折角お申込みに来られたのにお断りするとかも多々あったので、その辺は精神的にちょっときつかったかなと思っています。

再び北坂戸支店に戻り、融資係で3年間勤務した後、次は三芳支店に次長として配属になりました。三芳ははじっこの支店ですのなかなか「飯能信用金庫」という名前が浸透していなくてちょっと苦労しましたが、次長を2年間務めた後、三芳支店の支店長に初めてならせて頂きました。今から10年前のことです。その2年後にさいたま支店。そこを経て日高支店に配属されました。その時には日高RCに入会させて頂いて、矢島(高)、馬場会長年度には飯能RCと例会でお会いしました。

その後、本部に1年居りました。地域支援部という非常に面白い部署で、銀行と言え「預ける・貸す」が本業ですが、本業以外の部分、本業支援に注力した業務内容でした。今までの支店の経験があまり役に立たないような、大学、自治体等に出入りすることが多い仕事で、1年間で約1,000枚程の名刺を交換させて頂いた記憶がございます。

その地域支援部を経まして、今年の3月に飯能中央支店に参りました。

趣味、特技としては高校からやっている野球ですね。そしてゴルフは大好きですので、いろいろ誘って頂ければと思います。苦手なのは飛行機とスピーチです(笑)。親睦旅行の際には飛行機は避けて頂くのと、スピーチもあまり振らないで頂く和有難いのです。よろしくをお願いします。

飯能信用金庫の取り組みをちょっとご紹介させて頂きます。

預金を「貸す・預ける」だけではない、違った部分の「4次元的地域密着型金融」というのを掲げてかれこれ10年近くなると思います。お客様・取引先の数が面「2次元」、取引の深さ「3次元」、そこに時間をプラスして「4次元」です。長期間にわたって取引頂ける金融というのを掲げてやっております。

その一環として「伴走支援型地域プラットフォーム」を創設しております。企業の皆様が主役で、当行がハブとなって大学、商工団体、自治体、支援機関、当行と連携する民間企業等を結びつける場となっております。このプラットフォームを利用して2、3か月に1回、テーマを決めて「飯能セミナー」を開催しており、かれこれ12回位になります。すでに参加された方もいらっしゃるかもしれません。

当行の連携先企業、自治体、大学なのですが、大学は14校。埼玉大学、東洋大学、駿河台大学、城西大学、東京農工大学、秋草学園短期大学、早稲田大学、等。自治体は埼玉県、飯能市、日高市、ふじみ野市、入間市、狭山市、三芳町、川越市、鶴ヶ島市、所沢市、青梅市。外部連携企業は72企業。お客様と結びつけるという仕事をやっております。さらに商工団体では22団体。市町村の商工会と連携を結んでおります。

また、各支店でも「地域貢献セミナー」「資産運用セミナー」等を開催しています。

産学連携としては「子ども大学」というのをやっています、城西大学、駿河台大学、東京国際大学の3大学については「飯能信用金庫寄付講座」として半期にわたって講義を行っております。当初は職員だけで行っていたのですが、内容がつまらないというので、今は「竹林舎」のOBや関係団体の方をお願いしてより楽しい講義を心掛けております。

「竹林舎」というのは若手経営者の会です。「竹林舎(飯能)」「竹林舎さいたま」があり、毎年25名のお客様と職員5名の計30名で立教大学との連携企画を行い、もう18期までできています。

私は2期の卒業生です、OB会は400名超の規模になっています。会員さんの中にもOBの方がいらっしゃると思いますが、企業視察やゴルフ大会等でお客様同士を結びつける活動をしております。

また、「輝け！飯能プランニングコンテスト」「はんのう親子ミニ駅伝大会」等では駿河台大学と連携して地域に貢献するような活動もしております。

スポーツ大会では「バスケット大会」「少年野球大会」等にも協賛、協力させて頂いております。

イベントに際しては、特に飯能市においては「盆踊り」を企画したり、「飯能まつり」には全面的に協力させて頂いて、私も2日間出席させて頂きます。飯能中央支店、東飯能支店、飯能南支店でおみこしを担いで、原町の山車を引かせて頂きます。

地域に根差した活動を今後もやっていきたいなというふうに思っております。本日は有難うございました。